



■発行

社会福祉法人

九重町社会福祉協議会

九重町大字後野上17-1

TEL 0973-76-2500(代)

0973-76-3267

FAX 0973-76-3835

Eメール: smile9@oct-net.ne.jp

ホームページ: [九重町社会福祉協議会](#)

第108号

# ふれあい

社会福祉だより

くらしのサポートセンター飯田（通称：くらサポ飯田）5月28日設立総会  
「誰もが安心してくらし続けられる飯田をめざして」



# 令和4年度 九重町社会福祉協議会事業報告

## 生活支援・支え合い活動について

- いきいき夢サロン(372回 延べ2,834名)
- 多世代交流共生共食の場  
(東飯田地区 12回 649名、野上地区 11回 488名)  
(飯田地区 11回 541名、南山田地区 11回 625名)
- 軽度生活援助事業 125件 306時間
- ささえあいサービス事業 325件 752時間  
(くらしのサポートセンター東 281件 478.75時間)  
(くらしのサポートセンター南 67件 118.5時間)
- ふれあいプラザサロン(48回 延べ399名)
- 支え合いリーダー養成研修(3回 延べ50名)

## ボランティアセンター事業について

- ボランティア基礎講座(2回 延べ85名)
- 手話奉仕員養成講座(22回 延べ118名)
- 献立検討委員会(6回 延べ30名)
- 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会(2回 延べ162名)ほか

## 介護予防事業について

- ほほ笑い教室(83回 延べ826名)
- 通所型短期集中リハビリ教室(93回 延べ627名)
- 訪問型短期集中事業(74回 延べ165名)

## 介護保険事業

- 通所介護事業
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 居宅介護支援事業

## 障がい者福祉サービスについて

- 障がい者ホームヘルプサービス事業
  - 障がい者デイサービス事業
  - 障がい者相談支援事業
- など

## 地域福祉活動

- 福祉器具の貸出(54件)
- ふれあい備品貸出(117件)
- 無料法律相談所の開設(6日 25件)
- 障がい者年金相談所の開設(6日 6件)
- 生活福祉資金貸付事業(コロナ貸付12件 ほか2件)

## 九重町地域包括支援センター

- 九重町地域包括支援センター(対応件数 4,519件)
- 総合相談支援業務(303件)
- 高齢者声かけ模擬訓練開催
- オレンジカフェ開催(21回 138名)
- 認知症サポーター養成講座(3回 延べ42名)

## 児童福祉について

- 子育て交流センター(244日開館 延べ7,531人)
- 児童館特別活動(38回 延べ683人)
- 児童ふれあい交流事業
- ブックスタート事業
- 図書、おもちゃ図書館(1,014個) など

## その他の事業

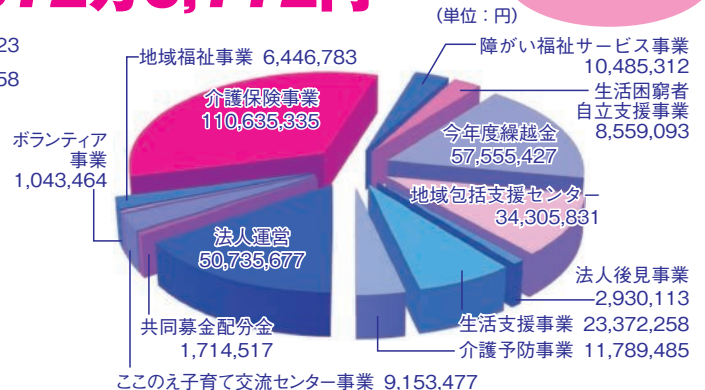
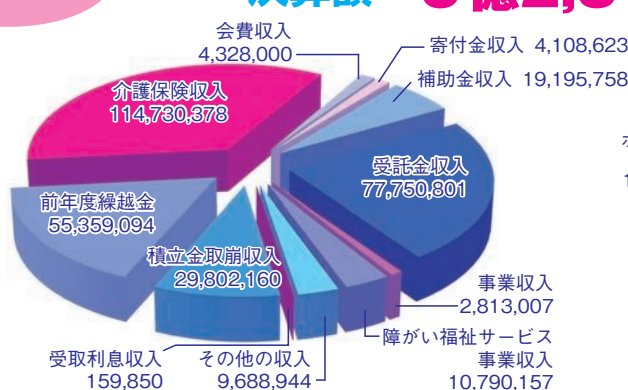
- コスモスのつどいの実施(2回 延べ47名)
- 広報紙発行(「ふれあい」3回、「すまいる」9回)
- ふれあい郵便事業(毎月約420名 延べ5,027名)
- 日常生活自立支援事業(183件支援)
- 生活困窮者自立支援事業(新規相談 53件)
- 第21回福祉ふれあい祭り・第48回社会福祉大会の開催(被表彰者10団体・48名、参加者210人) など

## 令和4年度 九重町社会福祉協議会収支決算書

### 収入の部

# 決算額 3億2,872万6,772円

### 支出の部



<皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われました。>

### (会費) 4,328,000円

- ボランティアセンター事業の一部 ..... 481,257円
- 生活困窮者自立支援事業の一部 ..... 789,093円
- 各種団体助成金 ..... 1,260,000円
- 広報活動の一部 ..... 214,082円
- 事務費等の一部 ..... 1,583,568円

### (寄付) 4,108,623円

- 地域福祉活動推進事業の一部 ..... 1,109,073円  
(マイクロバス等の維持費、地域福祉活動等)
- 第21回福祉ふれあい祭り・第48回社会福祉大会 ..... 620,364円
- 軽度生活援助事業の一部 ..... 159,957円
- 生活支援事業の一部 ..... 905,644円
- 事業の事務費等の一部 ..... 1,313,585円

# 令和5年度 九重町社会福祉協議会事業計画

## 基本目標

### 基本目標 1

#### 支え合いとふれあいのある地域づくり

1. 福祉委員研修会、行政区説明会の実施
2. 活動の場と交流・寄り合いの場づくり
3. ボランティア・支え合い活動の推進
4. 地域共生、福祉教育の啓発・普及
5. 九重町地域福祉計画との整合性・一体的推進

### 基本目標 2

#### 誰も取り残さない、安心して暮らせる地域づくり

1. 包括的支援事業の推進
2. 相談しやすい体制づくり
3. 地域福祉権利擁護事業の充実推進
4. 孤独、孤立を防ぐ見守りネットワーク、住民活動の推進
5. 在宅生活を支える福祉サービスの充実
6. 子育て支援事業の推進

### 基本目標 3

#### 誰もがいきいきと暮らせる地域づくり

1. 支援を必要とする人への自立支援
2. 認知症と共に生きる地域づくり
3. つながりが生れる地域づくり

### 基本目標 4

#### 安定した法人運営と信頼される組織づくり

1. 社会福祉協議会の経営改善・再構築
2. 各種募金事業の推進

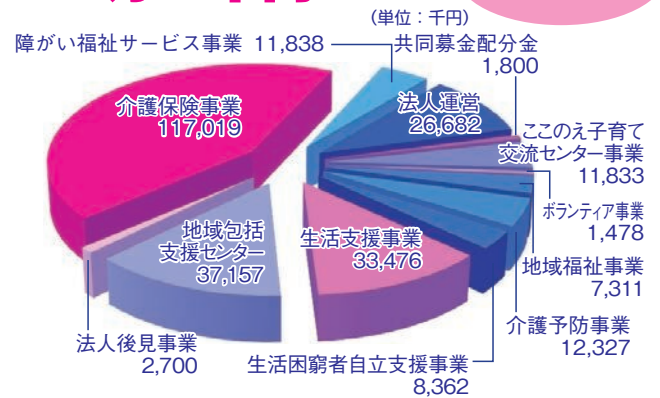
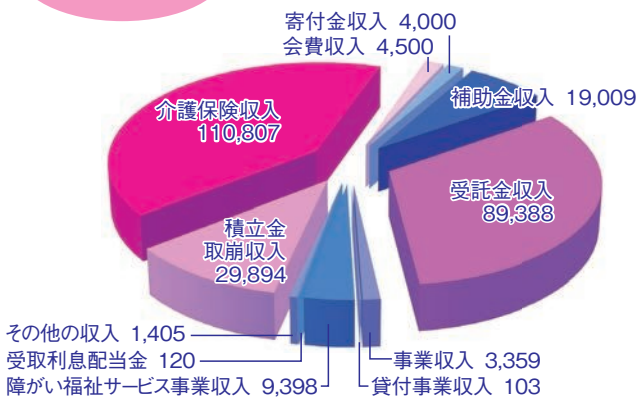


## 令和5年度 九重町社会福祉協議会当初予算

### 収入の部

予算総額 2億7,198万3千円

### 支出の部



<皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われます。>

### (会費) 4,500,000円

- 生活困窮者自立支援事業の一部 …… 409,000円
- 各種団体助成金 …… 2,354,000円
- ボランティアセンター事業の一部 …… 689,000円
- 事務費等の一部 …… 1,048,000円

### (寄付金) 4,000,000円

- 地域福祉活動推進事業の一部 …… 1,090,000円 (地域福祉懇談会、マイクロバスの維持費等の一部)
- 福祉ふれあい祭り・社会福祉大会経費 …… 896,000円
- 広報紙発行 …… 300,000円
- 軽度生活援助事業 …… 190,000円
- 生活支援事業の一部 …… 1,524,000円

令和5年度もご支援ご協力を  
よろしくお願いいたします。

# くらサポ飯田

誰もが安心して  
暮らし続けられる  
飯田をめざして

## 住民同士で支え合う活動が始まりました

5月28日に町内で3番目の住民型支え合い団体「くらしのサポートセンター飯田（通称：くらサポ飯田）」が立ち上がりました。

6月には早速、自宅から病院までの外出付添や部屋の片付け等の依頼が入り、活動会員の皆さんが活動を行いました。



くらサポ飯田運営委員のみなさん  
会長：有吉富士男さん（左端）

## 利用できる方…

高齢・障がい・子育て世帯等で、地域で生活を続けるうえで困りごとがあり、支援を必要としている方です。

一緒に地域づくりに  
取り組みませんか

例えば

- ・買い物の同行など外出のお手伝い
- ・自宅周辺の草刈り ・庭木の剪定
- ・家事や子育ての支援
- ・雨どい、雨漏りの修繕など簡単な修理
- ・手すりの取り付けなど簡単な大工工事
- ・電球の交換
- ・ごみ出しの代行 など



部屋の片付け



受診の外出付添

## 会員募集中

- ・利用会員
  - ・活動会員
  - ・賛助会員
- 年会費  
10500円

+	+
<b>くらしのサポートセンターとは</b>	
■住民同士の支え合いを基本にした、誰もが安心して暮らし続けられる <u>地域づくりの活動</u> です。	
■介護保険や障害福祉サービスなどの <u>公的な制度では対応できない</u> 、生活の中の <u>ちょっとした困りごと</u> を有償でお手伝いします。	
【お問い合わせ・お申し込み】	
くらしのサポートセンター東	
東飯田公民館	76-3116
くらしのサポートセンター南	
南山田公民館	78-8801
くらしのサポートセンター飯田	
飯田公民館	79-2251
九重町社会福祉協議会	
	76-2500
+	+

## 寄り合いカフェ

寄り合いカフェでコーヒーやお茶を飲みながらお話を楽しみませんか!?

地域の皆さんが寄り合って交流できる場所です。

どなたでも気軽にご利用ください。

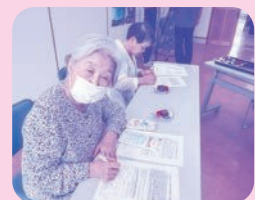
日時：毎月第2金曜日 午後2時～  
(飯田ふれあい夢食堂前日)

場所：飯田公民館  
\*各地区庭先等 不定期

くらサポ飯田についての質問や、利用・活動の相談などにも対応いたします。



カフェの様子



利用会員登録中



# くらしのサポートセンター活動報告

## 会員募集中



今年5年目を迎えたくらしのサポートセンター東。「困ったときはお互い様」の互助の精神に基づき令和元年の設立以来、草刈りや剪定、重たいものの運び出し等の生活支援やひとりでは外出が難しい方の外出付添に止まらず、東飯田地区まちづくり協議会や民生委員児童委員協議会、防災士会等と協働して、家具転倒防止大作戦やま〜じゃら市に取り組み、多くの地元住民の皆さんと共に活動を推進しています。設立3年目のくらしのサポートセンター南も、活動会員定例会を毎月開催し、直近1ヶ月の活動状況や地域の課題を共有しています。誰もが安心して暮らし続けられる支え合いの地域をめざして、昨年度は、くらサポ東が281件、くらサポ南が67件の生活支援を行っており、趣旨に賛同して登録した活動会員が高齢者や突発的なケガや病気で生活に支障をきたしている方の生活を支え、作業後のふれあい、会話を通じて地域とつながる安心感を届けてくれています。



## 寄り合いカフェから地域のつながり

くらサポ東・南ともに、小さな単位でのカフェの開催に力を入れています。庭先や車庫、境内など、声がかかればテーブルとイスを持ってどこでも開店する移動式のカフェです。のぼりを目印に集まってきた方、呼び止められて加わった方がお茶を飲みながらお話を楽しむ、昔ながらの地域の縁側です。カフェの開催をきっかけに、サロンの再開やまだ参加したことのない方へ参加を呼び掛けたり、これまで同じ地域にいながら接点のなかった方がカフェで出会い、馴染みの関係になり、相談に乗ったりと、豊かな関係が生まれています。こうしてくらサポが、生活の困りごとの解決をする生活支援の組織から、本来の目的である「人と人、人と地域のつながりを取り戻す活動」へと進化してきています。



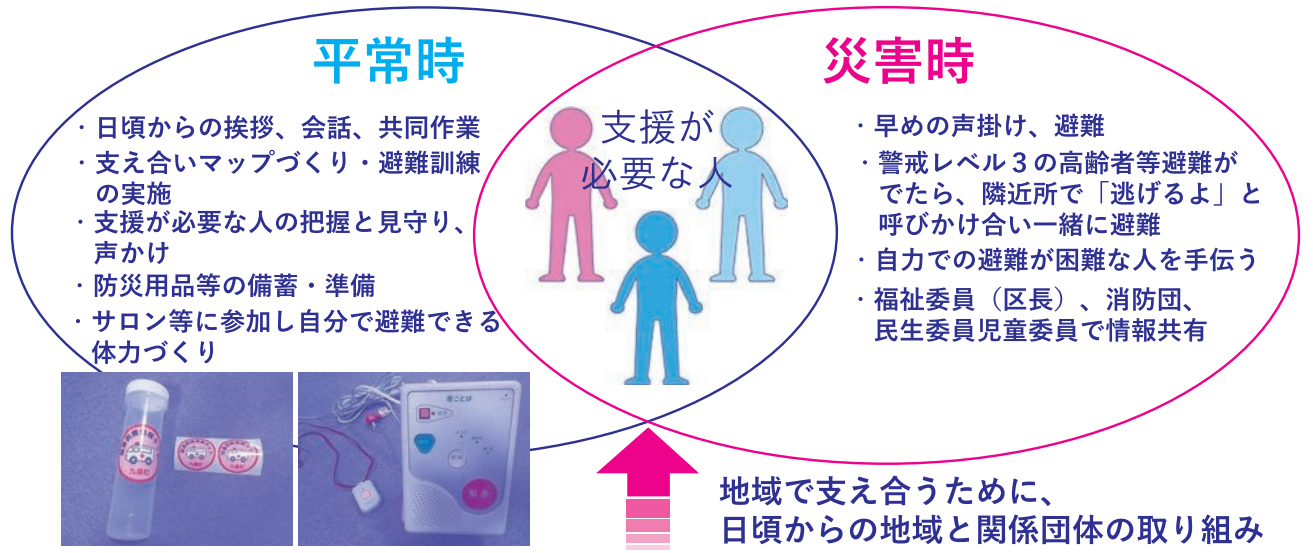
生活支援等の利用を希望される方は、会員登録が必要です。会の趣旨に賛同していただいた方に500円の年会費の負担をお願いしています。  
**草刈りシーズン到来です。活動会員大募集中です！**

くらしのサポートセンターについてのお問い合わせ・作業依頼、カフェの申し込み  
 くらサポ東(東飯田地区) 東飯田公民館内 電話：76-3116  
 くらサポ南(南山田地区) 南山田公民館内 電話：78-8801

# コミュニティ防災 ～災害に強い地区に～

第5次九重町地域福祉活動計画 基本目標2の(4)より

## 緊急時や災害時に備える支え合いの推進



緊急通報システムや緊急医療情報（命のバトン）の新規配備、内容の変更に対応できるよう年間を通して訪問活動を行います。

緊急時や災害時に迅速に対応いただける支援者を近隣に確保できるように努めます。

被災を教訓に、多世代が集い協議しました。



川西一地区の2回目のマップづくり (令和4年6月)

この地区に住み続けるための課題や近年頻発している災害に備えて、「いつ」「どこに」「だれと一緒に」避難すればよいのか？ 私たち一人ひとりの避難行動を決める大切な話し合いを地区ごとに行います。この話し合いでは、災害だけでなく、ごみ出しや買い物等に支障をきたしている人はいないか？ また、いざという災害時にも活かせるよう、日頃からのつながりづくりについても考えます。

人や地域の様子は数年で様変わりしますので、2～3年に一回見直しが望ましく、既に3回開催した地区もあります。

### 支え合いマップづくり

### 安全な場所・避難場所を確認する

ハザードマップを見て、自分が住んでいる場所どこが安全か？ 確認しておきましょう。わかりづらい方のためにも、是非地区でマップづくりを実施して、地区の皆さんで確認合しましょう。

『避難』とは『難』を逃れることで、自宅で安全が確保できる場合は避難所に行く必要はありません。

町指定の避難所以外にも安全な地域にお住まいの親戚や友人宅、ホテルなどへの避難も考えられます。

危険な場所などを避けて避難経路を決めてください。

避難をする際は、お住いの福祉委員（区長）さんに避難先を連絡しておきましょう。

災害対策基本法では「高齢者や障がい者、乳幼児その他特に配慮を要する人を滞在させることを想定したものと定義されています。

他に避難する場所がなく、一般の避難所では対応が難しい方が避難する場所であり、九重町では保健福祉センターのほか、複数箇所確保できるように関係機関や施設等に協力を呼びかけています。

### 福祉避難所とは？



# 九重町地域包括支援センター便り

## 認知症になっても安心して暮らせる町づくり

認知症によるものわすれ	老化によるものわすれ
体験そのものを忘れる	体験の一部を忘れる
忘れたことが分からない	忘れたことを自覚している
ヒントを与えても思い出せない	ヒントを与えると思い出せる
食べたことを忘れる	何を食べたか忘れる
約束したこと自体を忘れる	約束をうっかり忘れる
日付や曜日、場所などがわからない	日付や曜日、場所などを間違える
探し物は誰かに盗られたと思う	探し物は努力して見つけようとする
買い物に行った事を忘れ、また買いに行く	買い物へ行った時に、うっかり買い忘れる
間違いを指摘すると、辻褄を合わせた作り話をする	間違いを指摘しても作り話はせずに謝る

**「ものわすれ」が気になったら**

「最近ものわすれが増えたなあ」と感じることはありませんか。多くの方が加齢とともに、ものわすれを実感するのではないのでしょうか。

しかし、「老化によるものわすれ」と「認知症によるものわすれ」には違いがあります。初めのうちは区別がつきにくいですが、次第にはつきりしてきます。認知症の種類により出現する症状は様々ですが、おおまかな違いの目安は次の通りです。

今年度も各地区公民館で「ものわすれ相談室」を開催しています。その際、タブレットを使用した「脳の健康度のチェック」ができます。日程が合わない場合は、社会福祉協議会でも実施できますので、ご相談ください。



**脳の健康度をチェックできます**

2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人は認知症になると言われています。しかし、早期発見、早期受診をすることで、認知症の進行を遅らせる事ができます。

### 脳の健康度（ブレインパフォーマンス）を維持向上させる12のポイント

- 定期的な運動
- 健康的な食生活
- 体重のコントロール
- 血糖のコントロール
- こころの健康の維持
- 知的活動への取り組み
- 禁煙
- 節度ある飲酒
- 血圧のコントロール
- 脂質のコントロール
- 聴力の維持
- 社会的活動への参加



**脳の健康度を意識しましょう**

人生100年時代。自分らしくイキイキとした社会生活を送るため「体と脳の両方の健康」が大切です。脳の機能が衰えると、身体活動も精神活動もスムーズに行われなくなります。体調管理と同じように、脳の健康（ブレインパフォーマンス）を意識することが大切です。



声かけ模擬訓練



オレンジカフェ

認知症と診断されても、何とでもできるわけではありません。進行を防ぎ、周りの人たちの理解があれば、地域で安心して過ごすことができます。九重町では、認知症を正しく理解するために「認知症サポーター養成講座」の開催、認知症の人もそうでない人も気軽に参加できる「オレンジカフェ」、認知症の人への声かけの仕方を学ぶ「声かけ模擬訓練」など、様々な普及啓発活動を行っています。「認知症になっても安心して暮らせる町」を町民の皆様と一緒に作っていきたいと思います。



《 介護予防・認知症・権利擁護に関するご相談は 》

**九重町地域包括支援センター** 電話：0973-76-3863 FAX：0973-76-3835

## ボランティア協力校 ～野矢小学校の取り組み～

ふだんのくらしのしあわせについて考える福祉教育、ボランティア協力校の取り組みをご紹介します。野矢小学校では昨年度、以下のような活動をして地域の方々と繋がり、心温まる交流をしました。

- ・ひとり暮らし高齢者にお花を届ける交流
- ・人権親子講演会
- ・書き損じハガキ等の収集
- ・高齢者を学芸会へ招待

このうち、2つの取り組みをご紹介します・・・・・・・・・・・・・・・・

### ひとり暮らし高齢者との交流



野矢小学校では、校区内のひとり暮らしの高齢者の方19名、高齢者夫婦のみでお住いの方2世帯に育てた花を届けふれあい交流をしました。このふれあい交流では、「生活の中での楽しみ」「日々心がけていること」「困っていること、大変なこと」「これからの目標」など児童から質問しました。お花を受け取った皆さんは、笑顔で前向きな話をしてくださり、児童も真剣に聞き入っていました。とても温かい訪問に、「嬉しいねえ」と来てくれた事に大変喜んでいました。

花を届けて終わり、ではなく、数か月後に再度訪問し、地域の方と繋がった活動になりました。



### 人権親子講演会

飯田在住で、視覚障がい者の廣田満江さんを講師にお呼びし、人権講演会を行いました。全校児童と保護者から質問をし、みんなで廣田さんとお話をしました。お話の中で、廣田さんから点字の読み聞かせがあり、子どもたちは点字をなぞりながら絵本を読む廣田さんに興味津々で見入っていました。また、廣田さんがスマホを打つ姿にほとんどの児童は驚きと感動を隠せませんでした。



地域との繋がりが希薄になっている今、これらの活動を通して顔なじみの関係になり、これからも地域で見守り、見守られる関係ができたのではないのでしょうか。

### シリーズ 町の幸齢者さん



九重町で90歳を過ぎて生き生きと暮らしている高齢者の方＝幸齢者の方に元気の秘訣をお伺いします。



NO.25 野上 中央二  
穴井 智恵さん(91歳)

Q.元気の秘訣は何ですか

A.やりたい事を自由にさせてくれる家族がいる事と、親に元気な体に産んでもらえたこと。

Q.楽しみは何ですか

A.地域の集まり(サロンや週一体操)に参加しておしゃべりすること、温泉や花を見に出かけること。

Q.これからの目標は

A.旅行が好きなので、機会を見つけて出かけた。家族のために、茶碗洗いを続けたい。

「幸齢者さん」の情報は、九重町社会福祉協議会(76-2500)までお電話を！自薦・他薦は問いません！お待ちしております！



<交流センターで  
貸し出しています>

- 本 3347冊
- DVD 100枚
- おもちゃ 193個

# ここのえ子育て 交流センター



電話 73-2666 / FAX 73-2670



4.5才児クラス…先生と綱引き



小学生スポーツクラス

河野吉喜先生をお招きし毎月第4木曜日に行っています。リズムに合わせて楽しく体を動かす笑顔いっぱいの教室です。各クラス空きがありますので、お申込みお待ちしております。  
※小学生は楽しむクラスもあります。

スポーツリズム  
トレーニング



真剣な横顔



4月、5月はみつばこども園の4才児クラスの子どもたちが遊びにきて積木で遊びました。たくさん積木をつかって自分の身長よりも高く積み上げ、達成感に満ちた子どもたちの笑顔。積木は活動日以外でも遊べますので、お気軽に声をかけてください。

積木で遊ぼう！



笑顔いっぱい♪

■音あそび&工作づくり  
音楽に合わせて身体を動かしたり歌ったり、親子で楽しい時間を過ごしました♪  
雨をモチーフにしたモビールも素敵にできました。



アメンボ見つけたよ

■ふるさと自然学校  
池周りの散策やおたまでじゃくしのミニミニタッチプール、ヨシの葉で草笛をつくって九重町の自然を満喫しました。

わくわく広場



講師 根岸由紀江先生

■ワークショップ  
「子育てにイライラしないためのアンガーマネジメント」について参加者ひとりひとりに寄り添った有意義な講演会でした。



音楽を聴きながら～♪

■ママヨガ  
毎回、大好評のイベントです。ゆったりと自分の身体と向き合しましょう。

保護者向け  
イベント

# ココのえ介護事業センター

《お問い合わせ》  
☎76-3267

介護保険のサービスを利用するには、要介護・要支援の認定を受ける必要があります。

## 介護保険サービスを受けるまでの流れ

### 申請…介護が必要となったら、要介護認定の申請が必要です。

(九重町役場の担当窓口へ直接相談に行くか、電話でも相談することができます。介護を必要としている本人以外でも、利用者の家族であれば、要介護認定の申請は可能です。)



歩くことに不安がある



最近もの忘れが目立つ



寝ていることが増えた

### 訪問調査…介護を必要とする方の心身の状態を調査します。

(市町村から派遣された調査員が家庭を訪問し、状態を聞き取り調査します。)

### 介護認定…コンピューターによる判定結果や主治医の意見書などをもとに、介護認定審査会で決定します。(どれくらいの介護を必要とするか判定します。)

認定の結果に応じて、対象の介護保険給付や使えるサービスの種類が決まります。

## どんなサービスが利用できるのか



### 通所系サービス (デイサービス等)

送迎、入浴、食事の介助、機能訓練サービスを提供し、リハビリテーション、身体機能の維持・向上、自立的生活の支援を行います。



### 訪問介護 (ヘルパー)

訪問介護員 (ヘルパーさん) が利用者の自宅を直接訪問して、「身体介護」や「生活援助」を行うサービスです。



### 訪問看護・訪問リハビリ

健康状態の観察、病状悪化の防止・回復、療養生活の相談やアドバイス、リハビリテーション、医療処置、服薬管理など行います。



### 福祉用具のレンタル

福祉用具を利用することで日常生活上の便宜を図り、家族の介護の負担軽減などを目的として実施します。

サービスの利用を希望の方は、担当のケアマネージャーさんにご相談ください。他にも訪問入浴介護や短期入所 (ショートステイ) などもあります。

# あたたかい 心の輪

## ◎香典返し(三十七件)

- ▽三月
  - ・金一封 亡夫 敏夫
  - ・南恵良 宮野ハツ子様
  - ・三万円也 亡父左藤末男
  - ・後河内 田中準一様
  - ・金一封 亡夫 英二
  - ・南区 宇佐厚子様
  - ・五万円也 亡父 勝彦
  - ・南恵良 小幡龍也様
  - ・三万円也 亡夫 勝馬
  - ・北恵良一 白石サツキ様
  - ・一万五千円也 匿名希望様
  - ・三万円也 亡父 弘高
  - ・潜石 佐藤照子様
  - ・二万円也 亡夫 保徳
  - ・川西三 帆足澄子様
  - ・二万円也 亡弟小野廣明
  - ・北恵良三 繁田瀧子様
  - ・三万円也 亡母松木千代子
  - ・富田下 遠江えい子様
  - ・三万円也 亡夫 功
  - ・中央五 御幡美津子様
  - ・二十万円也 亡父 六彦
  - ・尾本 佐藤秀徳様
  - ・二万円也 亡夫 雄一郎
  - ・重原 高倉静子様

## ▽四月

- ・三万円也 亡父 明
- ・川下南 後藤雅和様
- ・一万円也 亡母サチ子
- ・川下北 松木新八様
- ・三万円也 亡父 久
- ・下右田(野) 高橋憲一様
- ・一万円也 亡夫 隆記
- ・南恵良 井上サダ子様
- ・三万円也 亡父 勝則
- ・須久保 徳永千景様
- ・五万円也 亡母 幸
- ・無田中 酒見公夫様
- ・金一封 亡父 弘之
- ・甘川水 武石健太郎様
- ▽五月
  - ・三万円也 亡夫 恒勝
  - ・中央三 森高マサヨ様
  - ・五万円也 亡妻八重子
  - ・野矢 佐藤眞治様
  - ・二万円也 亡義理妹喜多幸代
  - ・中村上 赤峰 久様
  - ・一万円也 亡父 千年
  - ・小久保 時松清晴様
  - ・十万円也 匿名希望様
  - ・五万円也 亡子 佑樹
  - ・川西一 田中昌文様

## ▽六月

- ・金一封 亡母ミサヲ
- ・滋賀県 後藤 優様
- ・金一封 亡夫 鎮雄
- ・中央一 松村茂子様
- ・三万円也 亡夫四郎彦
- ・西 梅木静子様
- ・二万円也 亡母 トメ
- ・菅原本村 木付幸成様
- ・三万円也 亡祖母カズエ
- ・桐木三 吉光泰三様
- ・金一封 亡母フジノ
- ・川上一 川野和義様
- ・三万円也 亡夫 二六
- ・玖珠町 藤野洋子様
- ・金一封 亡母ミツヨ
- ・菅原本村 梅木豊彦様
- ・三万円也 亡妻小恵美
- ・見留 生田初男様
- 匿名希望様 二名

## ◎特別寄付(四件)

- ・二万円也 泥よこい歌と踊りの祭典 実行委員会
- ・金一封 宿理一郎様
- 引治一
- 匿名希望様 二名

## ◎物品寄付(二件)

- ・はがき300枚
- 友成病院透析室患者一同様
- 匿名希望様 一名

## 「2023年 福祉と保育の しごと就職フェア」開催

福祉の職場に関心のある方、就職を希望する方や  
来春卒業予定の学生を対象とした合同面接会です。

■期 日：8月12日(土) 9:30~12:00

■場 所：日田市民文化会館

「パトリア日田」ギャラリー

■申込期間：8月10日(木)まで 当日受付可

■その他：参加無料・履歴書不要・入退場自由

※参加事業所は8月上旬頃、

日田市社会福祉協議会HPにて公開

(<https://hitashakyo.jp>)

■申込み・お問い合わせ

日田市社会福祉協議会(日田市福祉人材バンク)

☎0973-24-7026(担当：佐藤)



季節の植物

「フジとヤマフジ」

佐藤 三千代 みちしろ

初夏の頃1mをこす花序を垂れ、上から順々に青紫色のきれいな蝶形の花をつけます。公園や社寺の境内に柵造りされ、天然記念物に指定されているものがあります。フジ(ノダフジ)とヤマフジ(かんねかずら)の違いは近縁ではあるがフジの蔓が右巻きである点がまず挙げられ、全く別種です。ヤマフジは花序が短く柵造りはフジに劣るとされていますが、ヤマフジの花の方がきれいだという人もいます。白花、濃い紫、八重等、フジ同様の品種があります。庭木や盆栽にして栽培している人もいます。

結末用、炭俵を束ねたり、筏のつなぎ等にも用いられます。

\*藤波の咲き行く見れば

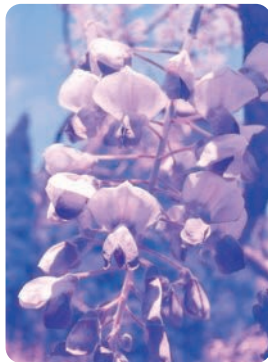
ほととぎす

鳴くべきときに近づきにけり

(万葉集)

日本文化の様々な方面に「藤」が登場しています。植林地ではクズとともに根絶が大変なやつかいものでもありません。

ヤマザクラの花の頃、シイタケの発生は最盛期です。この後一休みして藤の花の頃、又発生します。これを藤子(ふじこ)と呼んでいます。



▶ヤマフジ

フジ属は東アジアと北米に9種あり、フジ、ヤマフジは日本固有です。ともにつる性の木で、奇数羽状複葉で葉は互生、花は紫、実は広線形で垂れ、熟すと2片に裂開する。織物をする人が藤の皮の繊維が織物の原点だと言っていたことを思い出します。他に紙の原料にも利用したり、物の

今月の  
ちよつと言



1秒で世界を変えることができるのをご存じですか。ものごとを見る意識を変えるのです。意識を変えたたとたん、見える現実が変わってきます。

同じ仕事でも、「つらい、いやだ」と思えば成果は2分の1、楽しみながらやれば2倍。ということも言われます。

人口減少や高齢化が続く九重町どう見るか。これがけっこう大きいと思います。「もうだめだ」とあきらめるのか、「いいところがたくさん」とあきらめないか。

いま、社会福祉協議会が地域の、さまざまな活動を住民のみなさんとしています。そのときよく聞くのが「九重町はいいところがたくさんある」。福祉は、困っている人を支えるだけでなく、自分たちの住んでいる地域を「いいところだなあ」と思えるきっかけでもあるかなと思います。

「きれいだなあ、というと、景色がなおきれいになる」 高村光太郎 (詩人・彫刻家)

(K T)